

網走厚生病院小児科における「北海道オホーツク地域における小児のトキソプラズマに対する血清学的有病率」という題名の研究に参加された方へ

当院では下記の臨床研究をしております。これは「既存の生体資料や問診情報を用いた観察研究」で、新たな採血などの検査や投薬がないという研究ですが、国の定める倫理指針によって、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

【研究課題】

「北海道オホーツク地域における小児のトキソプラズマに対する血清学的有病率」

【研究責任者】

網走厚生病院小児科 梶野浩樹

【研究期間】

2024年4月1日～2025年3月31日

【対象となる方】

当院小児科を受診し、採血が施行された患者さん

【研究の目的】

この研究の目的は、この地域の子供がいつどれくらいの頻度でトキソプラズマという病原菌に感染しているかを調べ、さらにその生活環境と比べて、妊婦さんがこのトキソプラズマに罹らない様にするための方法を考えることです。なぜなら、妊婦さんがトキソプラズマに感染して発症する先天性トキソプラズマ症は、赤ちゃんの脳の発達が十分でなかったり、目が見えにくいなど重大な障害を起こしてしまうからです。感染予防として、妊婦さんには加熱が不十分な肉を食しない、妊娠中に新しい猫は飼わない、素手でカーデニングを行わない等の指導が行われていますが、当院において妊婦健診の採血によって初感染が疑われる方がしばしばいて、スピラマイシンによる治療が行われています。しかし、このオホーツク地域の住民において小児期から成人までの間、どれくらいの頻度で自然にトキソプラズマに感染しているのか、感染している人はどのような生活環境を過ごしているのかについては全く不明です。これらを明らかにすることによって先天性トキソプラズマ症の発症を防ぐ手立てを考えたいと思っています。

【研究の方法】

小児科外来を受診して採血検査が必要となった患者さんのうち、研究内容の説明で承諾が得られた患者さんにおいて、トキソプラズマ抗体を測定できるだけの血清が余った場合にこの残血清を測定業者に提出します。同時に生活環境についての問診も行います。それ以外の新たなご負担はありません。抗体の測定結果は研究責任者がまとめて解析します。なお、この研究は、当院の倫理委員会で承認されています。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報は、外部に漏えいすることのないよう慎重に

取り扱う必要があります。得られた情報はパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。残血清は測定後に廃棄されます。研究結果は個人が特定出来ない形式で学会等の場で発表されます。

この研究に関する費用は北海道厚生連臨床医学研究費から支出されています。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。本研究は、研究の実施や報告の際に都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。なお、協力をいただいた方への謝金はありません。

研究に参加されなくても不利益は生じません。この研究のために情報を使用してほしくない場合、あるいはご不明な点がありましたら 2025 年 10 月 31 日までにご連絡ください。連絡をいただかなかった場合、ご了承くださいましたものとさせていただきます。

問い合わせ先：

網走厚生病院小児科 梶野浩樹

住所 093-0076 北海道網走市北 6 条西 1 丁目 9 番地

電話 0152-43-3157

FAX 0152-43-6586